



2021年3月期 第2四半期決算説明

2020年11月6日

 山一電機株式会社

ご説明内容

- 【1】 FY2020 第2四半期業績結果
- 【2】 FY2020 通期業績見込
- 【3】 配当について

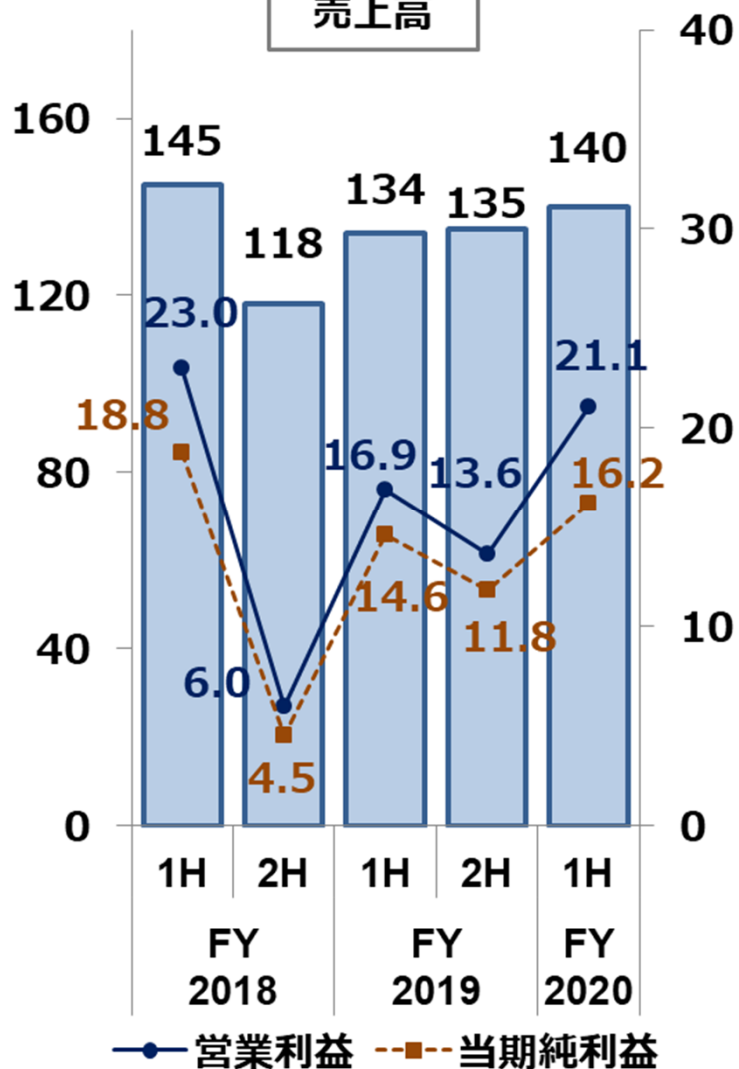
本説明資料内に記載の各事業名の略称について

事業名	事業名略称
テストソリューション事業	TS事業
コネクタソリューション事業	CS事業
光関連事業	OPT事業

FY2020 第2四半期業績結果

単位：億円

売上高



単位：億円	FY2019 上期実績	FY2020 上期実績	前年 同期比
売上高	134	140	6
営業利益	16.9	21.1	4.2
経常利益	16.5	20.4	3.9
当期純利益	14.6	16.2	1.6
EPS (円)	67.60	76.13	8.53
BPS (円)	1028.95	1124.82	95.87

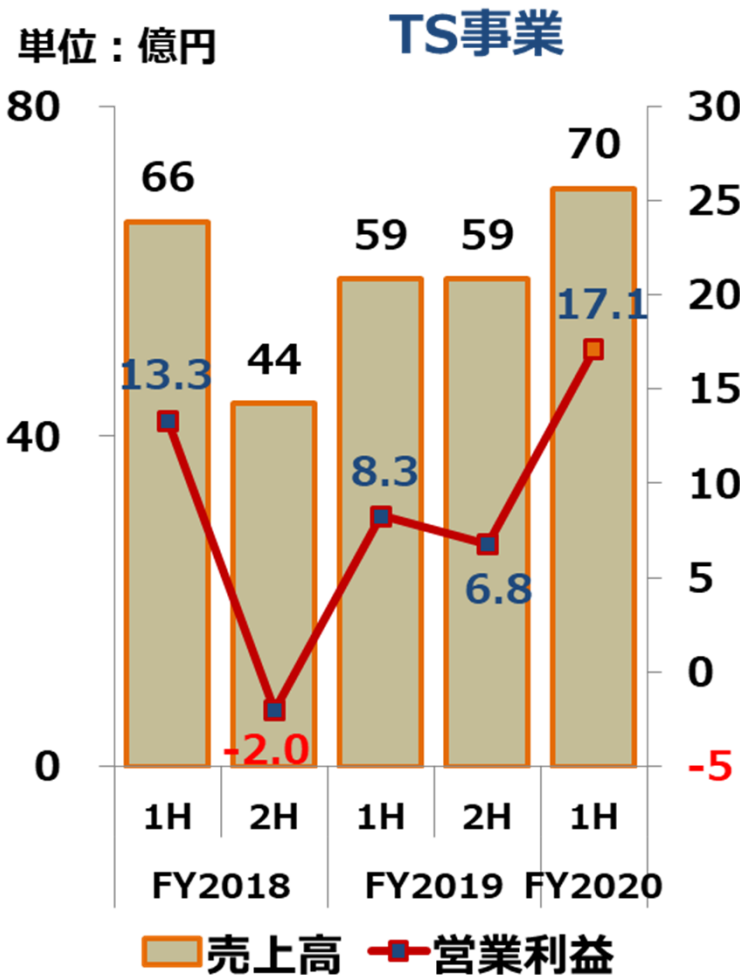
為替レート	FY2019/1H	FY2020/1H	増減
USD (円)	108.63	106.92	▲ 1.71
EUR (円)	121.41	121.30	▲ 0.11

FY2020 第2四半期 事業別業績結果

単位：億円		FY2019 上期実績	FY2020 上期実績	前年 同期比
TS事業	売上高	59	70	11
	営業利益	8.3	17.1	8.8
CS事業	売上高	69	61	▲ 8
	営業利益	9.2	3.5	▲ 5.7
OPT事業	売上高	6	8	2
	営業利益	▲ 0.0	0.6	0.6
その他	営業利益 (連結調整額)	▲ 0.6	▲ 0.2	0.4
合計	売上高	134	140	6
	営業利益	16.9	21.1	4.2

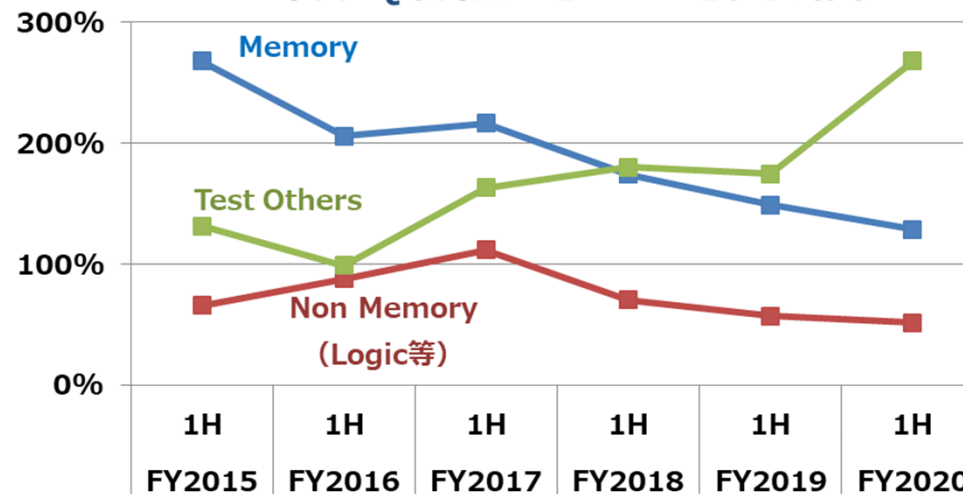
FY2020 第2四半期 TS事業業績結果

TS事業	前年同期比
売上高	119%
営業利益	206%



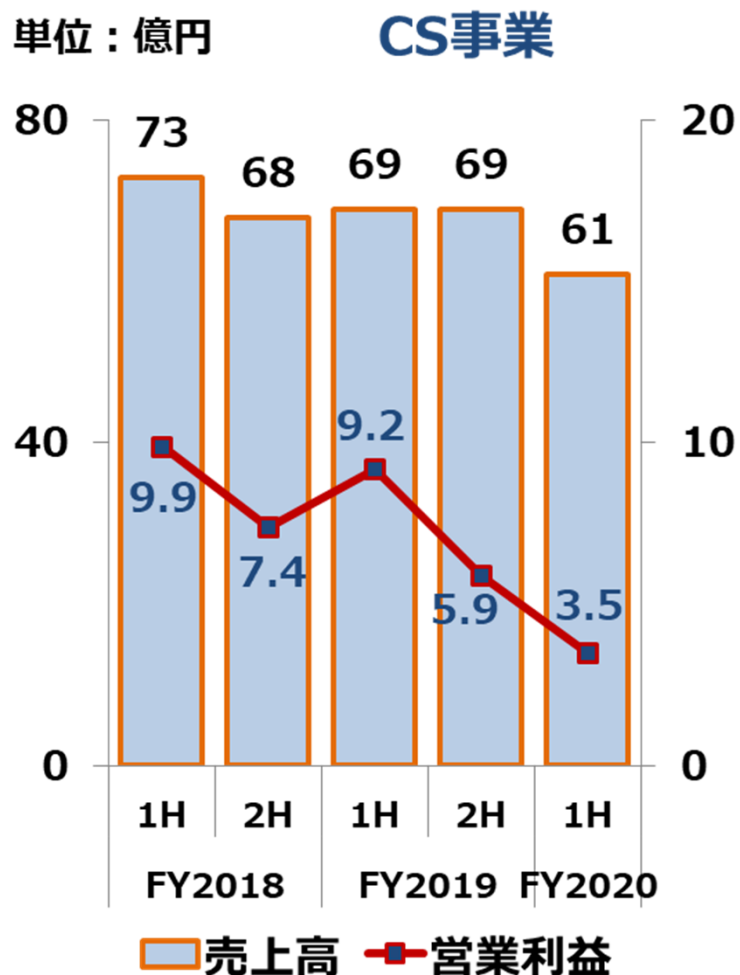
- ◆テスト用ソケットはスマホ用CPU向け製品が好調に推移
- ◆メモリ半導体用ソケットはDRAM向けは堅調に推移したが、NANDフラッシュ向けは売上減
- ◆ロジック半導体用ソケットはCOVID-19による自動車需要回復の遅れの影響を受け売上減

2014年度2Q累計売上を100%としての推移

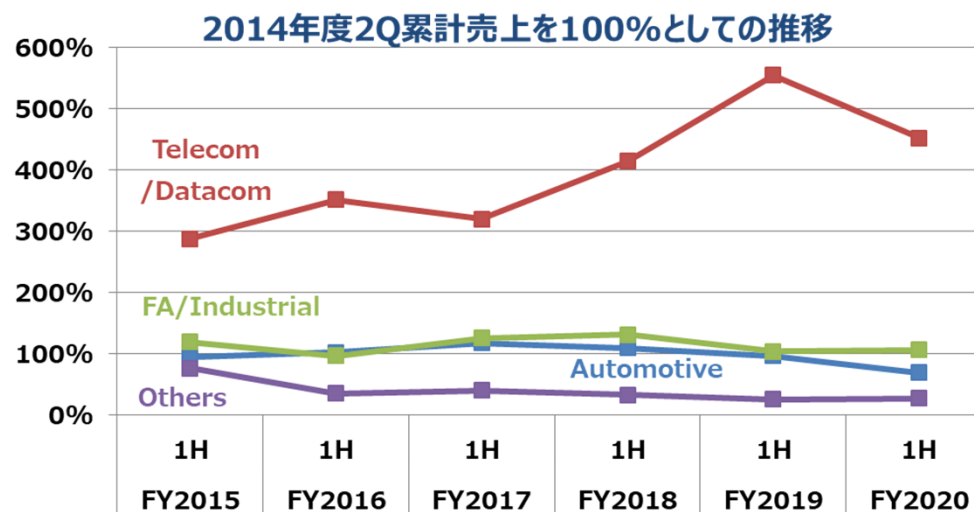


FY2020 第2四半期 CS事業業績結果

CS事業	前年同期比
売上高	89%
営業利益	39%



- ◆ 通信市場向けは米中貿易摩擦影響による主要顧客の在庫調整および生産調整の影響を受け減速
- ◆ 車載市場向けは主力の欧州市場顧客での在庫調整および生産調整が続く中、COVID-19影響が加わり売上減
- ◆ 産機市場向けは主力の欧州市場を中心に横這いで推移



貸借対照表

単位：億円	2020年 3月末	2020年 9月末	増減額	注記
流動資産	189.5	196.9	7.4	現金及び預金 : 6.2億円減少 売上債権* : 7.6億円増加 棚卸資産 : 5.8億円増加
固定資産	129.3	142.3	13.0	ドイツ新工場取得 : 9.7億円増加
資産合計	318.9	339.2	20.3	
流動負債	66.9	70.0	3.1	買掛債務 : 1.5億円減少 短期借入金等 : 2.0億円増加 ドイツ新工場リース : 0.5億円増加
固定負債	18.4	25.3	6.9	ドイツ新工場リース : 9.3億円増加
負債合計	85.3	95.3	10.0	
純資産合計	233.5	243.8	10.3	
負債純資産合計	318.9	339.2	20.3	

* 売上債権 = 受取手形・売掛金・電子記録債権

【1】 FY2020 第2四半期業績結果

FY2020 第2四半期 為替影響

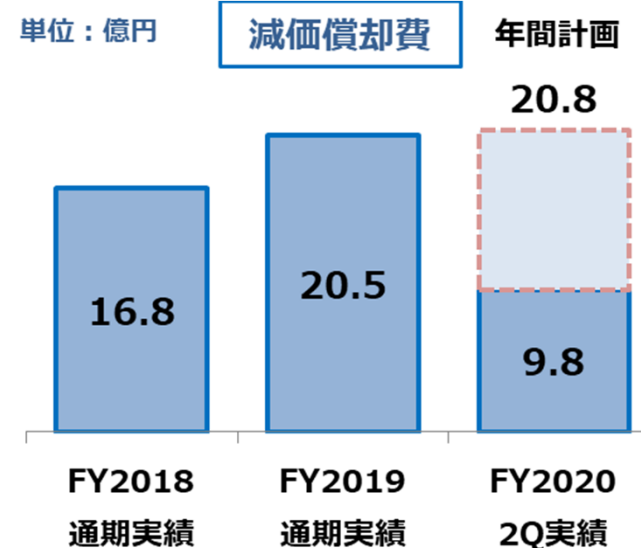
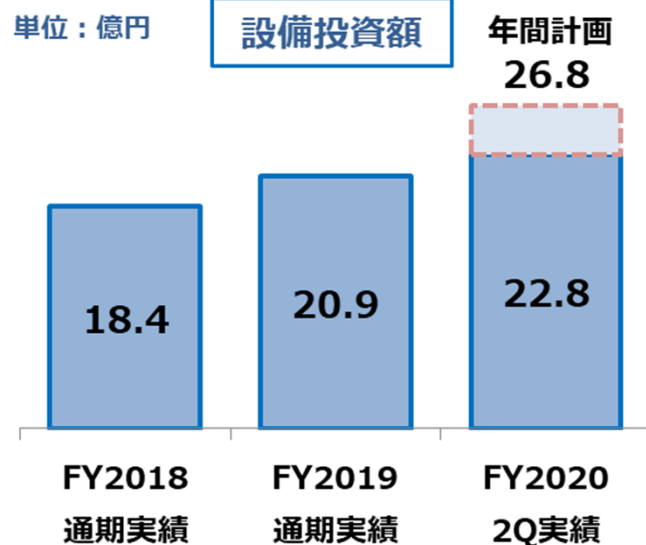
通貨	2019年度 上期	2020年度 上期	増減
USDレート (円)	108.63	106.92	▲1.71
EURレート (円)	121.41	121.30	▲0.11



対前年同期為替影響額 (単位：億円)	
売上高	▲1.3
営業利益	▲0.8

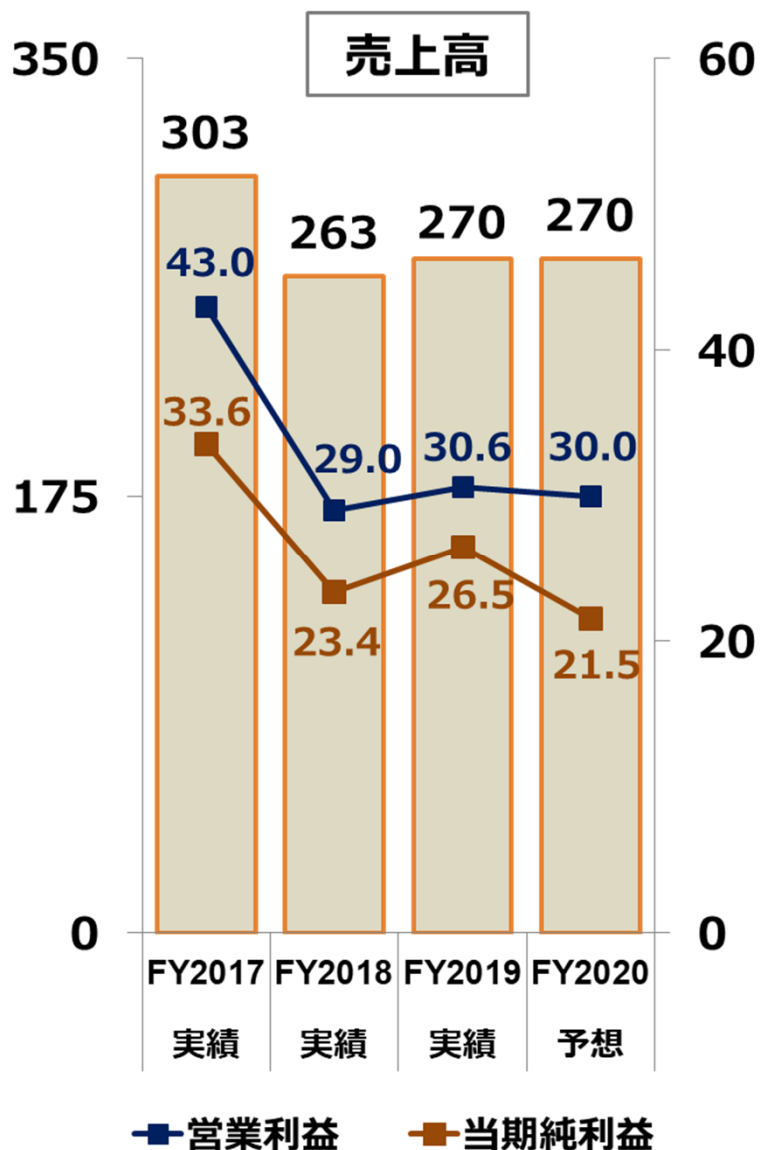
通期の為替感応度 (1円影響額/年間)	売上高影響額	営業利益影響額
USD	1.4億円	0.8億円
EUR	0.5億円	0.09億円

設備投資・減価償却費



業績予想 FY2020 通期

単位：億円



単位：億円	FY2019		FY2020			
	上期実績	通期実績	上期実績	前期比	通期予想	前期比
売上高	134	270	140	6	270	0
営業利益	16.9	30.6	21.1	4.2	30.0	▲ 0.6
経常利益	16.5	30.8	20.4	3.9	28.5	▲ 2.3
当期純利益	14.6	26.5	16.2	1.6	21.5	▲ 5.0
EPS (円)	67.60	123.06	76.13	8.53	100.42	▲ 22.64
BPS (円)	1028.95	1076.86	1124.82	95.87	-	-

2020年度連結業績予想の前提となる為替レート

為替レート	FY2020
USD (円)	105.00
EUR (円)	123.00

事業別業績予想 FY2020 通期

単位：億円		FY2019		FY2020			
		上期実績	通期実績	上期実績	前年同期比	通期予想	前年同期比
TS事業	売上高	59	118	70	11	129	11
	営業利益	8.3	15.1	17.1	8.8	22.7	7.6
CS事業	売上高	69	139	61	▲ 8	125	▲ 14
	営業利益	9.2	15.2	3.5	▲ 5.7	6.5	▲ 8.7
OPT事業	売上高	6	12	8	2	15	3
	営業利益	▲ 0.0	0.2	0.6	0.6	0.9	0.7
その他	営業利益 (連結調整額)	▲ 0.6	▲ 0.0	▲ 0.2	0.4	▲ 0.1	▲ 0.1
合計	売上高	134	270	140	6	270	0
	営業利益	16.9	30.6	21.1	4.2	30.0	▲ 0.6

事業別業績予想 FY2020 通期

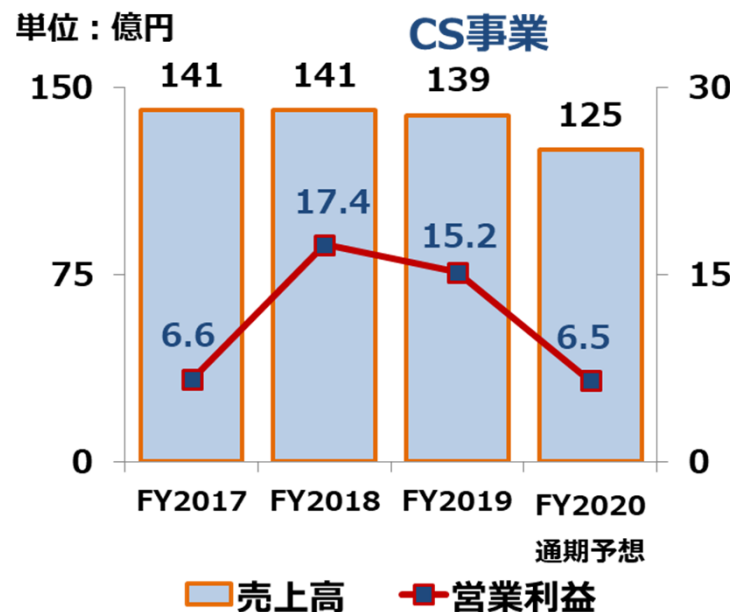
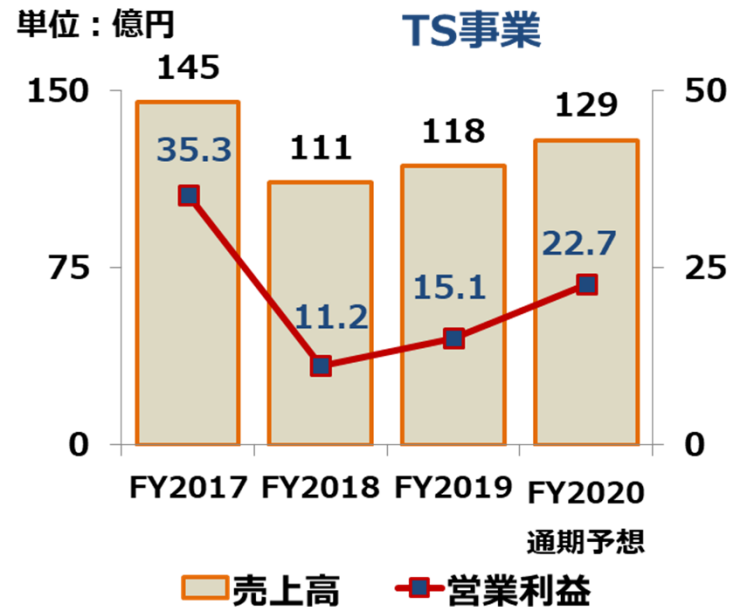
2021年3月期の見通しは、COVID-19の終息が見通せない状況に加え、強まる米中貿易摩擦の影響により、先行は見通しにくい状況が続くものと予想されます。

TS事業

- ◆ スマホ向けテストソケットは4Qから次年度製品の出荷が開始見込
- ◆ メモリ半導体用ソケットは新NANDの立上りで大きく変化
- ◆ ロジック半導体用ソケットは車載向けが緩やかに回復すると共にサーバー用が堅調に

CS事業：下期は若干回復傾向

- ◆ 車載市場向けは中国市場の回復により増加の見込み
- ◆ 産機市場向けは弱いが回復基調
- ◆ 通信市場向けは米中貿易摩擦の影響を受け回復は難しい



FY2020 配当予想

- ◆ 当社グループは、先の中期経営計画で配当性向30%を目指すことを公表し、2018年度より継続して30%を維持しております。本年度も通期の業績予想の公表に伴い、未定としておりました期末配当予想額を、配当性向30%を基準に20円といたします。
ただし、最終配当金額については、2021年3月期 期末決算時の純利益額にて調整させていただきます。

	年間配当金		
	上半期末	期末	合計
前回予想 (2020年8月7日公表)	10円	未定	未定
今回公表予想	10円	20円	30円
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	10円	28円	38円

- ◆ 2021年3月期の期末配当につきましては、2021年6月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

佐倉事業所 ESG対応で自家発電設備導入完了



NAS電池システム

- 設置場所 : 山一電機株式会社 佐倉事業所
所在地 : 千葉県佐倉市大作1-4-1
PVパネル仕様 : 445W×1,530枚
パワコン仕様 : 50kW×10台 (実質発電量 : 500kW相当)
NAS電池仕様 : 容量2,400kWh、出力400kW
正式稼働 : 2020年11月

導入目的

- BCP対応 : 安定した再生可能エネルギーと蓄電池で停電に強い生産工場構築
- 環境対応 : 電力費の削減と共に、化石燃料の削減でCO2削減につなげる
⇒ 本システムの稼働にて化石燃料由来のエネルギー削減と、CO2 排出を年間322ton 削減の見込み
- 地域貢献 : 発電した電力を使い 甚大な災害時に事業所を避難所として活用できるよう整備計画が進行中

ご清聴ありがとうございました

(第3四半期決算発表日 2021年2月5日(金) 15:00予定)

※注意事項

本資料は、2020年11月6日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

問合せ先：経営管理部広報課 古畑 利之

TEL：03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: furuhata@yamaichi.co.jp